



▲民政官合同会議・第9回(一社)木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会要望活動発表会の様子

時の話題

第9回(一社)木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会(L W C P C) 要望活動発表会を開催

民間要望団体と議員連盟、諸官庁による民政官合同会議
(一社)木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会

継続は力なり。ますます不透明化し混迷化する世界情勢の中、日本が直面する諸課題の大きな一つとして「身近な気候変動という地球規模の環境主題」という観点からCO₂削減への取組みである。

その意味で、CO₂の吸収と固定化を果たしている日本の「森林・木材」並びに木材産業は、気候変動・地球温暖化防止に資する再生可能資源として、また基幹産業としての民政官共有一の位置付けが大切であり、必要である。

日本は、2050年「カーボンニュートラル」の目標に向け、持続的な森林資源供給と木材の伐採、加工、利用、植林サイクルを不斷に推進して行く責務が課せられていることは必然である。

こうした中、国内にあって21世紀課題に持続的且つ現実的に取組むべき大きなテーマとして「日本産材の利活用で低炭素社会の実現」化があり、これを社是として日々活動を進めている(一社)木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会(L W C P C)原口博光会長最高顧問(前会長代行)の挨拶で始

長、東京都板橋区常盤台4-13-3日新興産ビル内、☎03-3550-6311、36企業・団体・個人で構成)は、昨年に引き続き令和7年12月11日(木14時45分から東京都港区永田町にある衆議院第1議員会館1階多目的ホールで、木の総合文化(ウッドレガシー)を推進する議員連盟(坂本哲志会長・自由民主党衆議院議員)所属の各議員、各諸官庁の担当官が一堂に会する中、

第9回(一社)木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会(L W C P C)要望活動発表会を開催した。

冒頭、衛藤最高顧問は「高市首相の構築は重要課題で、とりわけ経済安全保障は国家存立の根幹で喫緊且つ重要な課題である。国内の経済活動においては経済活動の大半を占める中小企業への支援、具体的には中小企業に占める補助金枠を4分の3、特別枠は5分の4にすべきだという意見もあり、今回の発表会内容もしっかりと踏まえて議員連盟の皆さん共々要望して参りたいと思う」と挨拶。



▲挨拶する木の総合文化(ウッドレガシー)を推進する議員連盟の衛藤征士郎最高顧問



▲挨拶する木の総合文化(ウッドレガシー)議員連盟最高顧問

定刻、要望活動発表会は、木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会の平田耕一広報委員長の司会で進められた。まず、当日は国会開催中の為、開会の辞に先立ち議員連盟から衛藤征士郎最高顧問(前会長)と同じく太田昭宏最高顧問(前会長代行)の挨拶で始

統いて、同じく議員連盟の太田昭宏最高顧問(前会長代行)が「今日は9回目となる要望活動発表会で、これまでウッドレガシーを推進する議員連盟はほぼ10年、衛藤先生を中心に活動して来られた。また今回、役所からは国交省の住宅局長宿本さんを始め林野庁他関連省庁の皆さんに来て頂き、全国各地から家具の他木材産業に係っている

まつた。

「木の総合文化(ウッドレガシー)を推進する議員連盟」						
最高顧問	衛藤 征士郎 殿	最高顧問	太田 昭宏 殿	顧 問	石田 祝穂 殿	監修会長
会 長	坂本 哲志 殿	会長代行	中谷 元 殿	会長代行	斎藤 鉄夫 殿	
幹事長	齋藤 健 殿	共同幹事長	岡本 三成 殿	事務局長	武部 新一 殿	
共同事務局長	横山 信一 殿	事務局次長	三宅 伸吾 殿	共同事務局	中川 宏昌 殿	
共同事務局 次長	山崎 正恭 殿			次長		

要 望 書

一般社団法人 木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会(LWCPC)

会長	原口 博光	木材産業要望活動団体代表幹事
副会長	服部 順昭	東京農大大学名譽教授
副会長	門脇 秀策	海の森づくり推進協会会長 鹿児島大学名譽教授
顧問	間田 勲	人吉城文化の森・田株式会社社長
顧問	松田 恵明	海の森づくり推進協会名誉会長 鹿児島大学名譽教授

日本板橋商業組合 理事長 足立 建一郎	カリモク家具株式会社 副社長 加藤 信	日新興産株式会社 社長 原口 博光
株式会社 東京組 社長 前田 俊介	株式会社 日本の窓 社長 佐藤 正志	(一財)神戸文化の森 会長 藤田 敦
中国木材株式会社 会長 堀川 智子	株式会社 協和木材 社長 佐川 広興	株式会社 ヤマオ 社長 板橋 衛
株式会社 金剛組 会長 多田 俊彦	加賀木材株式会社 社長 増江 世圭	株式会社 エココスマ 社長 菊籠 駿
株式会社 高川谷萬治商店 社長 長谷川 泰治	細田木工工業株式会社 社長 奥村 永徳	日青木材株式会社 社長 青木 一
木材産業要望活動団体 代表幹事 原口 博光	(一社)日本木工機械工業会 理事長 菊川 厚	株式会社 ヤスジマ 社長 安島 敦
双日建材株式会社 社長 驚見 高志	防災不燃木材連絡協議会 会長 伊藤 三男	株式会社 トム 代表 柳田 信之
株式会社 新昭和 会長 松田 芳彦	齋藤木工工業株式会社 社長 齋藤 健	(有)E.P.A環境改裝設備建築研究所 取締役 武松 幸治
株式会社 サンエイコー東日本 社長 高橋 由美子	イーアンドエー・ソリューションズ㈱ 社長 川上 智	(一社)マリンハイビット咲巻 代表理事 田山 久倫
海の森づくり推進協会 副会長 門脇 秀策	(特非)地域交流センター 代表理事 橋本 正法	(特非)日本技術振興会 副理事長 荒井 一美
澤田雅之技術工事務所 所長 澤田 雅之	(株)仁田コンサルティングファーム 社長 仁田 照人	海青社 社長 田村 由記子
エニコシスLOBBYひらた事務所 代表研究者 平田 耕一	エニコシスLOBBYかなざわ 代表 真柳 幸男	(認定NPO法人)江川城天守を再建する会 会長 太田 賢蔵

これから来年度の令和8年度の予算編成時期にも入る。その予算の獲得も含めて、これから本当の意味での木の総合文化立国を創り上げていく為にも全力で活動して参りたいと



▲開会の辞を述べる認定NPO江戸城天守を再建する会の木川静雄専務理事

さて、ウッドレガシーを推進する議員連盟の最高顧問、会長、会長代行の挨拶に統一して早速、認定NPO法人江戸城天守を再建する会の木川静雄専務

べき壁を越えさせて頂いた。今、東京駅を出て皇居の方に向かうと右側に昔の赤レンガビルは無くなり、木造で中高層建築が出来つつある。木造ビルが全国に広がっていくように、これからも我々が頑張つて行きたいと思う」と支援の挨拶を述べた。

理念として木は一番大事なことは間違いないが、近年は住宅造りも学校校舎建設でも資材の高騰で予算の高騰が一番大変だと。加えて人手不足も皆様方のお仕事では大変であろうと思つてゐる。今日は坂本会長や我が党の斎藤代表も参加頂いてるので、よく連携を取り合つてじっくり腰を据えての前進ができるようだと思つていて。日頃からの皆さんのご努力に感謝申し上げたい」と挨拶した。

引き続いて議員連盟現会長の坂本哲志自由民主衆議院議員からは「衛藤先生の後を受け、熊本県3区の坂本哲

史がウッドレガシーを推進する議員連盟の会長を仰せつかつてゐる。この会は公明党さんのご尽力を得て様々な活動をしてゐる。政権は政権として、このウッドレガシーは自公連携でしっかりとやつて参るのでどうか宜しくお願ひを申し上げたい。

日本は70%が山林で、木材の供給元から製造、製品から販売まで一体的につないで木の総合文化を創り日本らしさを創造したいと思つてゐる。先般も林野庁長官に協議会の原口会長そして衛藤最高顧問共々に伺い要望をした。

レガシーを推進する議員連盟の齊藤鉄夫会長代行（公明党衆議院議員・公明党代表）がマイクを渡され一岸田政権で3年間国土交通大臣をした。当時の農水大臣の坂本さんと連携して建築のいろいろな法律の大改正を行なった。中高層建築を木材で造れるよう法律改正をし、その中心になつて頑張つてい



▲挨拶する木の総合文化（ウッドレガシー）を推進する議員連盟の斎藤鉄夫会長代行（公明党代表・衆議院議員）

企業の方々に参加を頂いた。皆さんには、総合的に木材を利用した環境に優しいモノづくりで長年の努力を感謝申し上げたい。



▲挨拶する木の総合文化（ウッドレガシー）を推進する議員連盟の坂本哲志会長（自民党衆議院議員）

思つてゐる。どうか皆様方のご指導をよろしくお願ひ申し上げたい」と、ウツドレガシーを推進する議員連盟代表者

魅力と活力に溢れた観光立国日本の新しい道標となる。これにより日本の若い世代が日本人として日本に生まれたことに誇りと自信を持ち、日本人としてのアイデンティティを確立し新しい日本の未来に繋げて行くことを期待している」と述べて要望活動発表会へと進められた。



▲挨拶する木の継合文化（ウッドレガシー）を推進する議員連盟の横山信一共同事務局長（公明党参議院議員）

理事事が開会の辞で「私たちは魅力ある東京の国際観光交流都市形成に寄与することを目的として設立した。江戸城関係の天守建築の理念は、令和の新しい国づくりに向けて日本各地に広がる香り豊かな純国産の木材を使い木造の江戸城天守を築城することで、江戸時代に花開いた繩文以来の日本伝統文化の魅力を最先端ハイテク技術を駆使して世界に発信し、奥深い精神性を体感する」と述べた。

レガシー」を推進する議員連盟の役員参加メンバーが紹介される中、議員連盟の横山信一共同事務局長（公明党参議院議員）が挨拶に立ち「地球温暖化が大きな課題となり、気候変動も非常に激しく、今年も大きな山火事が各地で起き、大変な火災も発生した。地球温暖化対策計画は2040年までに200万トンのCO₂を削減するとの目

標を掲げている。吸収源の中でも一番大きいのは森林であるが、如何に木材を使って森林の更新を早めて行くかが大事である。今日の皆様方の様々な提案をしっかりと聞き届けて前に進められるよう取り組んで参りたい」と語った。



▲挨拶する木の総合文化(ウッドレガ)を推進する宏次院議員連盟中川宏昌議員

引き続いて議員連盟の中川宏昌共同事務局次長（公明党衆議院議員）が挨拶に立ち「先般も原口会長から木材産業を広めて行くに当たっては中小企業が肝だと指導を頂き、様々な場面で様々な補助金の嵩上げの必要性があるうと思つていて。中小企業主導の木材産業そのものが成長分野であると思つていて。その中でも、伐採期を迎えた木材をどう使って行くかが日本の中にいて今一番の課題であり、本日も皆様から様々なお知恵を承りたいと思う。今日もウッドレガシーアイデアの皆様から様々な情報を吸収させて頂き、このウッドレガシーの理念である環境、経済、そして文化を結ぶことが出来るよう私も微力ながら働いて参る決意である」と語った。

ここで進行上マイクが諸官庁サイドに渡り、諸官庁代表して国土交通省の宿本尚吾住宅局長が「ウッドレガシーの促進や中大規模木造建築物の普及に推進協議会の第9回の要望活動発表会



▲諸官庁を代表して挨拶する国土交通省の宿本尚吾住宅局長

役に立つ有用なプロジェクトへの支援等に取り組んでいる。さらに今後は建物の省エネだけではなく、建設から解体に至るまでの建築物のライフサイクル全体を通じて排出されるCO₂の削減が必要になり、2028年度を目途に建築物ライフサイクルカーボンの評価実証制度の開始を目指して現在取り組んでいる。当然、木材利用の脱炭素というものが評価をされる。木材利用の促進や脱炭素社会の実現を推進協会の皆様と連携をして持続可能な社会の実現に向けて取組みたいと考えている」と挨拶。



▲挨拶する木の総合文化(ウッドレガ)を推進する矢倉克夫前公明党衆議院議員

さらに議員連盟から矢倉克夫前公明党衆議院議員が「9年前、農林水産大臣政務官として務めたので、例えば学校の木質化が子ども達を含めた人の心に与える影響で木材利用促進が重要だと実感した。私自身、早期に国政復旧を果たしより一層皆様方のお役に立てるよう頑張つて参りたいと思つていいよろしくお願ひしたい」と挨拶。

国土交通省では令和7年度補正予算に工コ住宅2026事業を盛り込んで、住宅ローン減税なども含め引き続き省エネ性能の高い住宅の取得支援に取組む考えである。また令和3年に改正された都市の木造化推進法に基づき公共建築、民間建築における木材利用の促進や中大規模木造建築物の普及に

連盟の中谷元会長代行（自由民主党衆議院議員）が挨拶に立ち「最近は東京・都心のビルも木造化で木材を利用している。また地方でも新築の住宅などもモダンで木の良さを取り入れたものが広がつており、皆様方の運動が特に公務店とか建築会社設計会社に着実に浸透して意識も広まつている。その証拠に東京オリンピックの時も国立競技場の方も木で造ろうという発想を大事にするようになつた。残念ながら木の価格がまだまだ低く山元まで経済効果が来ていかない。しかし木の需要が増えると途端に山元にも波及するのではなかいか。要は木を使用し需要を増やすことがあるので、皆様方のリードにより役所の方も木材普及について一緒になつて頑張つてもらいたいと思う」と述べた。

次に議員連盟の武部新事務局長（自由民主党衆議院議員）の秘書が紹介された後、民間代表として（一社）木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会の原口博光代表理事・会長の挨拶となつた。



▲挨拶する木の総合文化(ウッドレガ)を推進する元公明党衆議院議員

原口会長は師走の忙しい中、国会議員、諸官庁、木材産業からの参加により無事第9回民政官合同会議が開かれたことを感謝した上で「現場の声を届



▲挨拶する木の総合文化(ウッドレガ)を推進する原口博光代表理事

けるべく手段として要望書を提出している。CO₂を一番吸収して固定化するものが木材の大事な役目で、我々の運動は当初から日本産材を利活用して地球温暖化や気候変動防止に木材産業の役目として取組むべきだと思つている。議員連盟の皆さんは我々以上に理解されておられ、当初から森林・木材の環境に果たす役割を考えている方々だ。

もう一つ。我々の防災不燃木材連絡協議会として日本大学生産工学部の永井教授が委員長になって取組んでいる不燃木材のJIS「A-9011」への調査予算が国土交通省の宿本住宅局长にも応援して頂いて要求金額が万額認められたことを報告したい。

また、第1回目政策実現委員会の課題が木製サッシ専門に取組む日本の窓様、東京組様が提案された木製サッシで、政策実績委員会に林野庁長官並びに防衛省局長に出席して頂いた。日本の窓が作る木製サッシの性能データが素晴らしく防衛省のホームページにアルミや樹脂に加え木製サッシも使用可能とされた。結果としては業界の次に日本国民にその恩恵が波及することになろう。

さらに4年ほど前に、林野庁の試算によれば木製サッシが汎用されれば日本産材はとても大きな量が使われる事になるというデータを作つて頂いた事もある。民政官合同会議は、本当に小さな現場の運動を政治家の先生方に

取り上げられ国家としてどう取組むかということに繋がり、利他から社会貢献へと拡がつて行き我々国民全ての存在意義、国民からの税金の存在価値、国家国民の存在の貢献になる。今回も政治家、公務員の方々に木材産業として現場の声を一つ一つ届けるので真摯に向き合つて頂きたいと思つていて」とウッドレガシー推進協議会の立場、役割に言及した。

民政官代表者其々の挨拶を終え、これから参加しているウッドレガシー推進協議会の役員紹介とメンバー17からの要望発表へと移つた。誌面の関係上、具体的な要望内容については次号で掲載するが、発表者のみ次に記す。

■発表者順と内容

①カリモク家具(株) 取締役副社長 加藤 信

「国産広葉樹活用および木材供給体制強化に関する要望」、②(株)トム代表取締役 柳田信之「日本元気体創プランの支援・能登被災復興木の街づくり」、③(株)東京組・(株)日本の窓営業・中村、絹川「国産材木製サッシの優先的な支援策検討」、④認定NPO法人江戸城天守を再建する会専務理事木川静雄「皇居東御苑に日本産材を使った木造江戸天守の再建」、⑤(株)エココスモ代表取締役 賀籠六 實「木材の歩留まり向上で儲かる木材産業・割れ止め塗料、早世桐の活用」、⑥木材産業要望活動団体代表幹事 原口博光「日本再起補助金の新設」、⑦中国木材(株)外国人実習生に関する要望」、⑧(一

要望発表後、第9回民政官合同会議は、時間の都合上、ウッドレガシーを推進する議員連盟の横山共同事務局長が締めくくりの挨拶を行ない、最後にウッドレガシー推進協議会の門脇副会長が閉会の辞を述べ無事終了した。閉



▲閉会の辞を述べる
(一社)木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会の門脇秀策副会長

CPC民政官合同会議・要望活動発表会からの案件折衝・予算枠獲得と委託先としての受諾裁可について(ご報告)
⑯都市防災不燃化部会不燃木材外装委員会
⑰当該協議会執行役員会議

以上



▲カリモク家具
(株)の加藤信
副社長



▲(株)トムの柳田
信之社長



▲(株)日本の窓の
中村伴喜営業



▲(株)エココスモ
の賀籠六 實社長



▲(一社)マリンハビタット
壱岐の田山久倫
代表理事



▲澤田雅之技術
土事務所の澤
田雅之所長

▶NPO地
域交流セ
ンターの
橋本正法
代表理事



▲不燃木材の調査研究を進める日
本大学の学生(永井香織研究室)

社)マリンハビタット壱岐代表理事
田山久倫「リーフボール技術を活用し
た海洋教育プログラム構築の要望」、
⑨海の森づくり推進協会副会長 門脇
秀策「海の森づくり推進協会からの要
望」、⑩(特非)日本技術振興会副理
事長 荒井一美「フラット35の免責規
定見直しと国産材活用補助金につい
て」、⑪澤田雅之技術士事務所所長 澤
田雅之「公共建築物の木造化の促進」
は「デザインビル方式が最適」、⑫地
域交流センター代表理事 橋本正法「國
土保全と持続可能性のための総合的森
林政策に向けて」、⑬日本合板商業組
合「日合商の要望」、⑭人吉神城文化
の森・藤田(株)「木に係る企業・個人へ
の継続的支援が必要」、⑮過年度LW
CPC民政官合同会議・要望活動発表
会からの案件折衝・予算枠獲得と委託
先としての受諾裁可について(ご報告)
⑯都市防災不燃化部会不燃木材外装委
員会
⑰当該協議会執行役員会議

会後は報道記者向けに記者会見の場が設けられ、原口会長、平田広報委員長、荒井監事が対応した。(2月号で関連記事)